

DATA in 九州



今月の注目データ

今月は「イチゴ収穫量」と「大学入学者の県別出身状況」です。



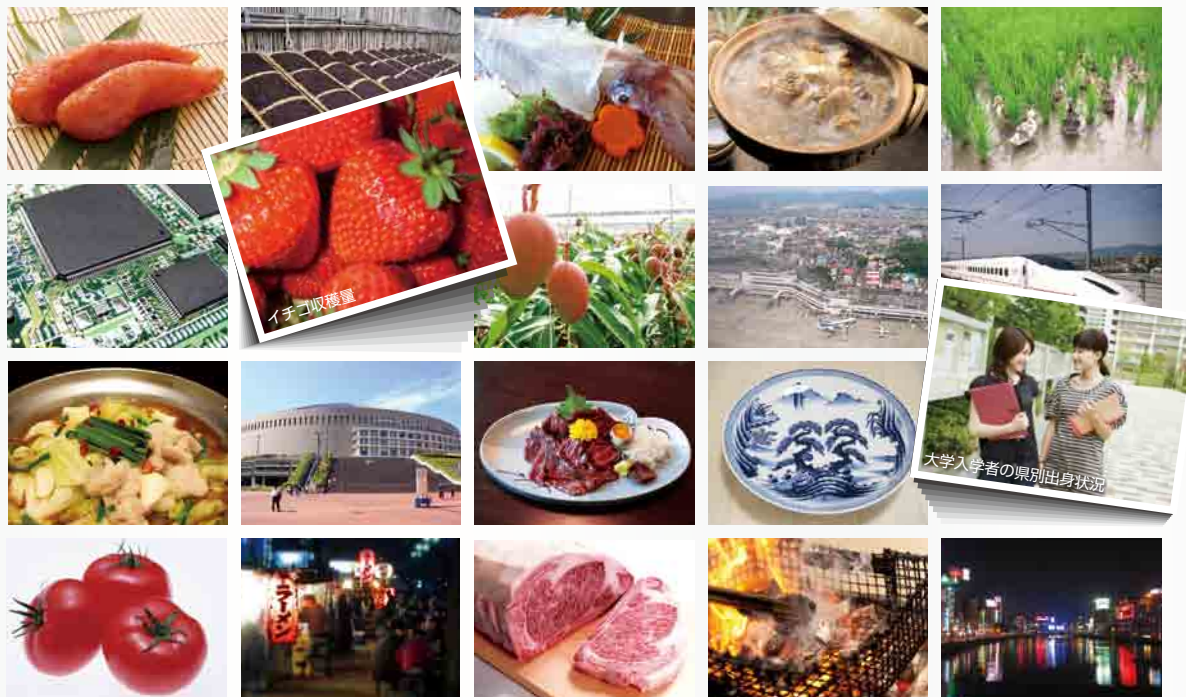
大学生

検索



イチゴ

検索

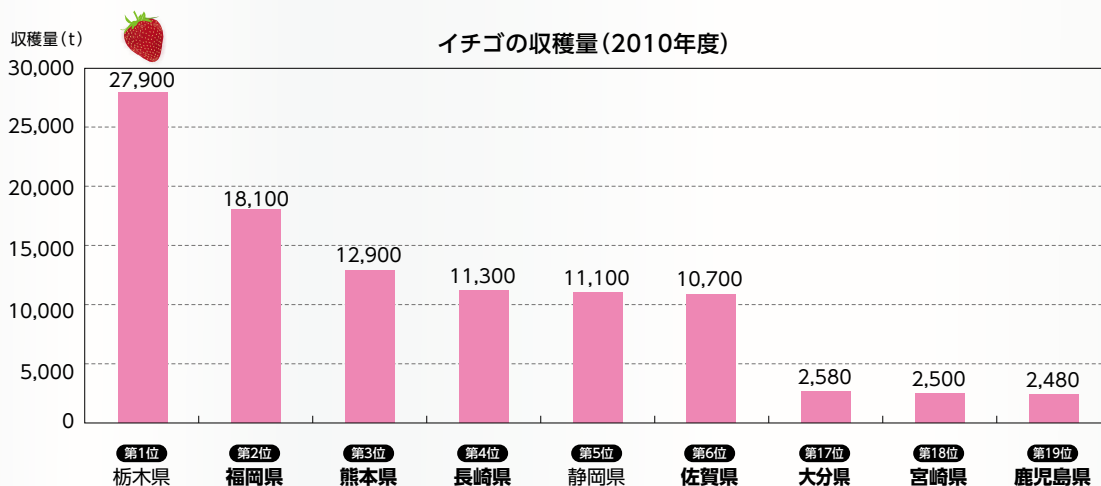




イチゴ収穫量

寒さが深まり、クリスマスシーズンの到来とともに、ケーキを彩るイチゴは12月から5月頃までの間、収穫の最盛期を迎えます。日本国内におけるその収穫量を見てみると、九州は、日本全国のイチゴ収穫量のおよそ3分の1を占めており、県別のランキングでも福岡県を筆頭に多くの県が上位に位置する等、一大生産拠点となっています。ちなみに、福岡県で長い年月をかけて研究開発され、人気の高い高級品種である「あまおう」は、**あ**まい、**ま**るい、**お**おきい、**う**まいの頭文字をとって命名されました。

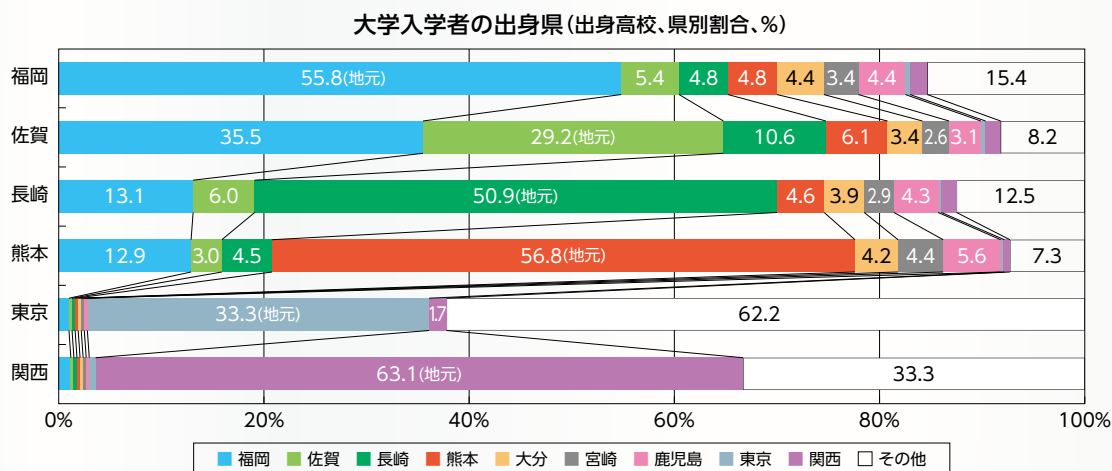
大人も子供も大好きで、クリスマスケーキには欠かせないイチゴ。地元九州産をたくさん食べることは地域貢献に一役買っています。



大学入学者の県別出身状況

大学は、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする教育・研究機関です(学校教育法第九章)。

九州の大学でも、こうした学びの志を持って、地元県内をはじめ県外から多くの学生が集い、学術研究に勤しんでいます。例えば、福岡県の大学入学者の出身県(出身高校、平成24年度)を見ると、県内出身者が55.8%と約半数を占めていますが、九州域内外の出身者も多く、九州域内の県外出身者は27.1%、九州域外の出身者は17.1%になります。各県で同じ傾向にあり、東京とは異なる特徴となっています。間もなく受験シーズンが到来します。様々な地域出身の学生と共に学べる環境こそが、大学の良さと言えるでしょう。



福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

生産活動は、自動車等の減産に伴い輸送機械が低下した他、一般機械や化学の生産が減少する等、一部に弱さが見られます。大型小売店販売額や新設住宅着工戸数は2ヵ月連続で前年を上回り、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

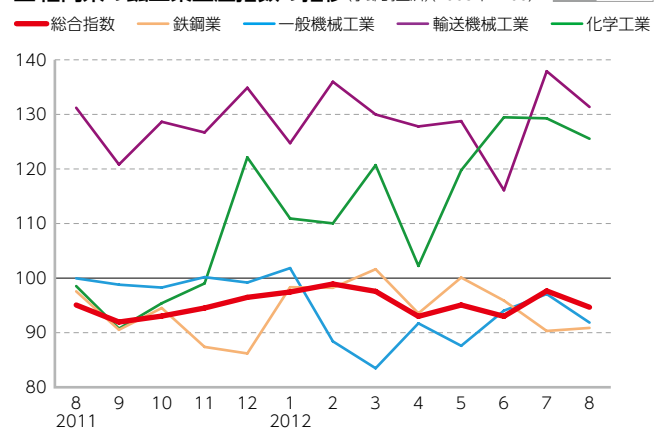
福岡県の景気は、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いています。

1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月ぶりに低下

8月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は94.8となり前月比2.9%低下しました。

主要業種では、普通自動車等が減産となった輸送機械が低下した他、産業用ロボットや半導体製造装置等の生産が低調な一般機械、及びプラスチック原料等の生産が減少した化学が低下しました。

■ 福岡県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(2005年=100) 出所 福岡県



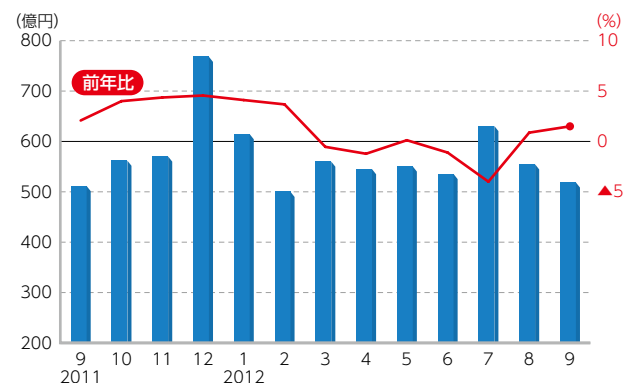
2.大型小売店 | 2ヵ月連続で前年を上回る

9月の大型小売店販売額は、前年同月比1.5%増の519億円で、2ヵ月連続で前年を上回りました。

主力の飲食料品が好調に推移した他、宝飾品等の高額品も売上を伸ばしました。

■ 福岡県の大型小売店販売額

出所 九州経済産業局



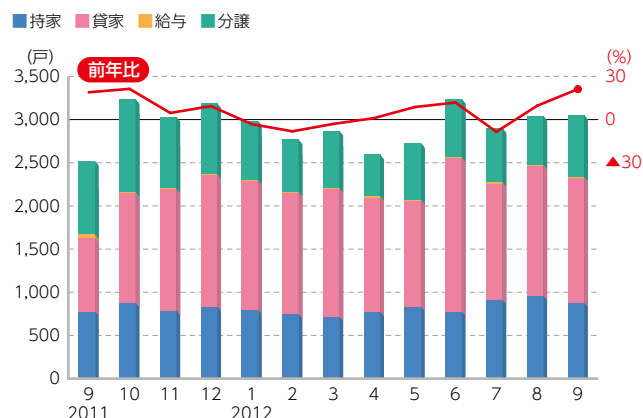
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を上回る

9月の新設住宅着工戸数は、3,053戸と前年同月比21.2%増加し、2ヵ月連続で前年を上回りました。足もとでは、住宅着工の先行指標である建築確認申請件数で、戸建の申請件数が回復基調にあり、着工戸数増加に向けた動きが見られます。

「持家」「貸家」が前年を上回っている他、「分譲」は、大型マンションの着工が相次いだ前年に比べると下回っていますが、消費税増税の駆け込み需要を意識したマンション等の着工が好調を維持しています。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



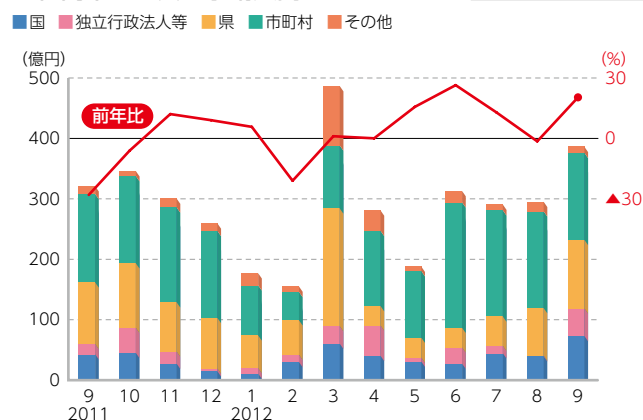
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

9月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比0.4%減の852件、金額は同20.2%増の386億円となり、請負金額は2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

発注者別では、港湾関連工事等のあった「国」が前年比で増加した他、東九州自動車道工事等の大型案件のあった「独立行政法人等」や、大学施設新築工事等のあった「県」も前年を上回りました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



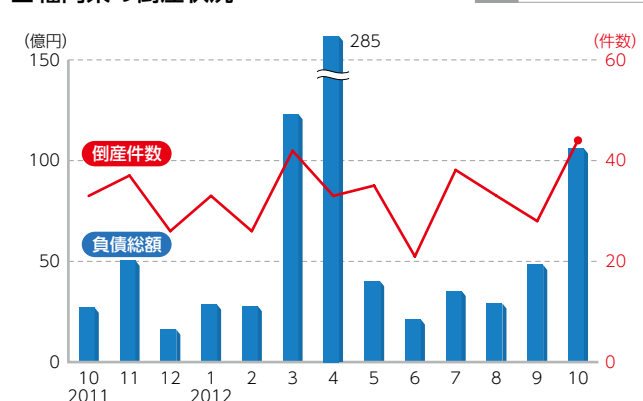
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を上回る

10月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%増の44件、負債総額が同288.6%増の106億円となりました。

卸売業における約20億円の倒産をはじめ、10億円以上の大型倒産が3件発生し、負債総額は前年を大きく上回りました。また、件数は44件となり、今年3月(42件)を上回り直近1年間で最多となりました。受注環境の依然厳しい建設業で12件の倒産が発生した他、建材等卸売業でも6件の倒産が発生しました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 持ち直しの動きに一部弱さが見られる

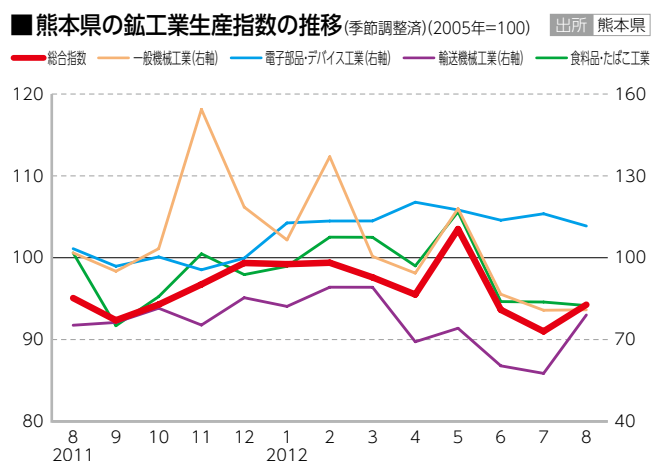
生産活動は、輸送機械の好調を主因として総合指数が3ヵ月ぶりに上昇しましたが、3ヵ月連続で総合指数が100を割る水準が続く等、持ち直しの動きに弱さが見られます。住宅建設は、分譲マンションの着工が増加する等、緩やかな持ち直しの動きが続いているものの、消費面では大型小売店販売額が3ヵ月連続で前年を下回り、弱めの動きが見られます。

熊本県の景気は、総じて持ち直しの動きに一部弱さが見られます。

1.生産活動 | 総合指数は3ヵ月ぶりに上昇

8月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は94.2となり、前月比3.5%上昇しました。

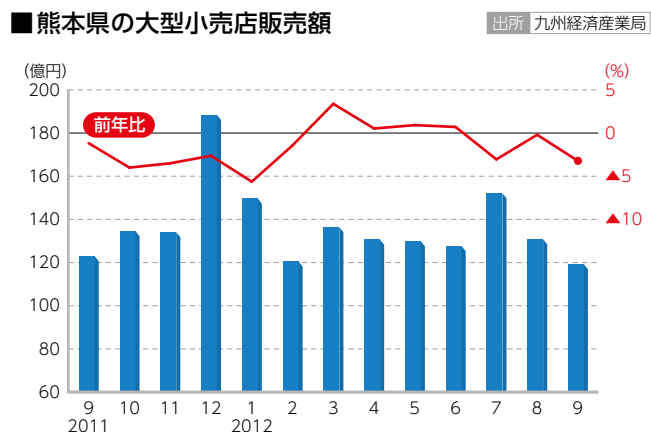
主要業種では、海外需要の減少で半導体集積回路が減産となった電子部品・デバイスが低下した一方、輸送機械が3ヵ月ぶりに上昇しました。



2.大型小売店 | 3ヵ月連続で前年を下回る

9月の大型小売店販売額は、前年同月比3.2%減の119億円で、3ヵ月連続で前年を下回りました。

一部の百貨店がフロア改装により減収となった他、婦人服等の販売が伸び悩み、主力の衣料品が前年を下回りました。



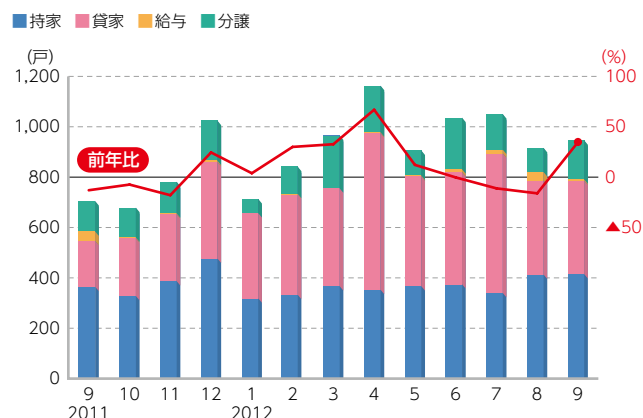
3.住宅建設 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

9月の新設住宅着工戸数は、946戸と前年同月比34.2%増加し、4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

「分譲」は、熊本市中心部や同市郊外でマンションの着工が増加する等、消費税増税の駆け込み需要を意識した動きが見られ、前年を上回りました。「持家」「貸家」も順調な着工が続き、前年を上回っています。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



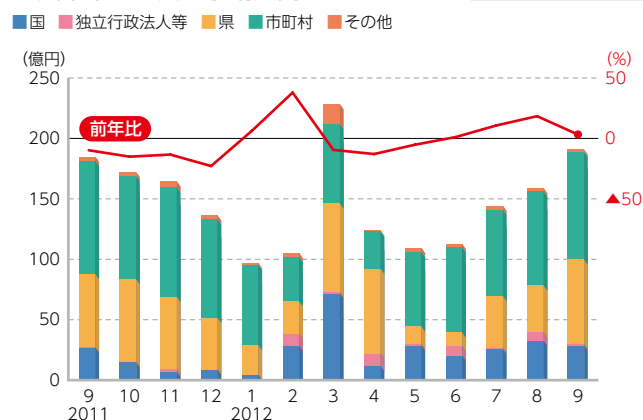
4.公共工事 | 4ヵ月連続で前年を上回る

9月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比11.5%減の540件、金額は同3.3%増の191億円となり、請負金額は4ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、「市町村」は文化施設建築工事や学校新築・改築工事等の大型案件があったものの、件数が伸び悩み前年を下回りました。「県」は小口案件を中心に件数が前年同月比11.6%増となる等、前年を上回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

10月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比増減なしの10件、負債総額は同26.2%増の約20億円となりました。

畜産業で約12億円の大型倒産が発生した他、1億円以上の倒産が4件発生し、負債総額は前年を上回りました。また、件数は10件となり、今年6月(10件)以来の水準となりました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

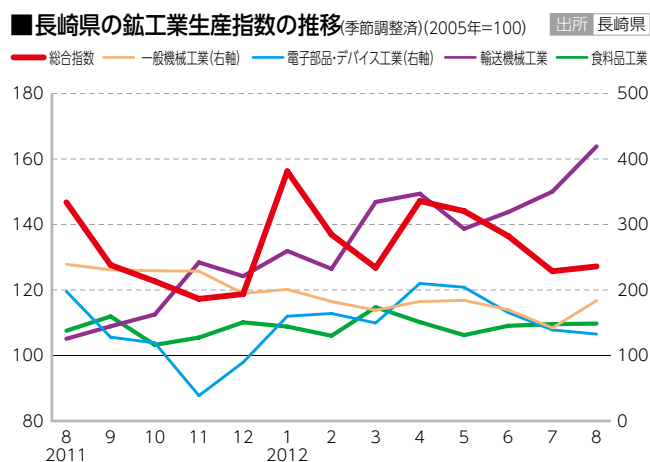
生産活動は、新造船が高操業を維持する等、緩やかな持ち直しの動きが続いています。大型小売店販売額は、昨年7月末の百貨店閉店から1年経過し、その影響が無くなった後も再び前年割れの水準となる等、弱い動きが見られます。住宅建設は、2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

長崎県の景気は、総じて持ち直しの動きが続いています。

1.生産活動 | 総合指数は4ヵ月ぶりに上昇

8月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は127.2となり、前月比1.1%上昇しました。

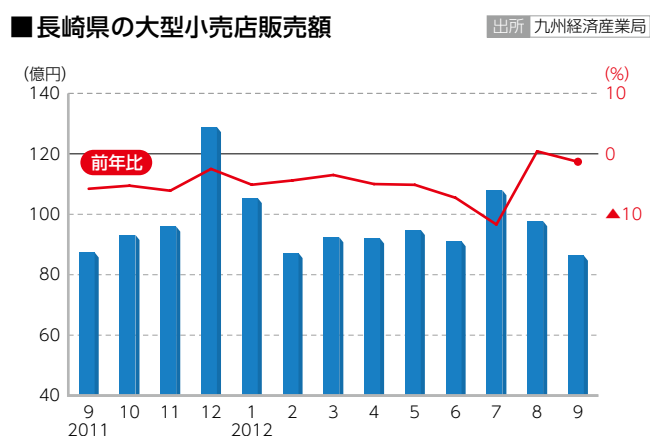
主要業種では、海外需要の減少で半導体集積回路が減産となった電子部品・デバイスが4ヵ月連続で低下したものの、新造船が高操業を維持している輸送機械や、ボイラーが増産となった一般機械が上昇しました。



2.大型小売店 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

9月の大型小売店販売額は、前年同月比1.3%減の86億円となり、昨年7月末の百貨店閉店から1年経過し、その影響が無くなったにもかかわらず、再び前年割れの水準となりました。

婦人服等の販売が伸び悩んだ衣料品が低調となった他、家具、家電や家庭用品等が前年を下回りました。





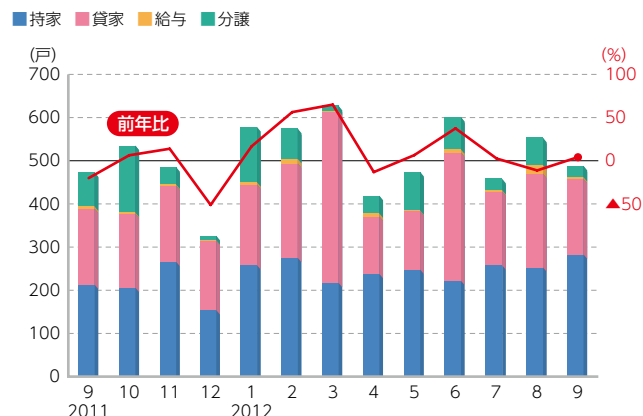
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

9月の新設住宅着工戸数は、488戸と前年同月比3.2%増加し、2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

「持家」は、大規模な建築条件付宅地の分譲等で着工数を伸ばす等、消費税増税を意識した動きが見られ、前年を大きく上回りました。「分譲」は、2ヵ月ぶりにマンションの着工が無く、前年を下回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



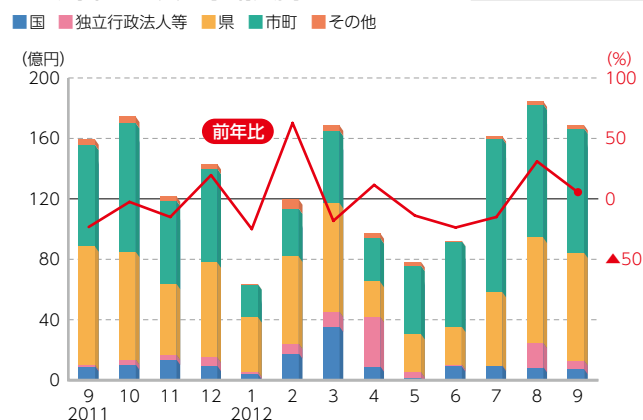
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を上回る

9月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比10.6%減の472件、金額は同5.9%増の169億円となり、請負金額は2ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、学校新築工事や港湾改修工事等の大型案件があった「市町」が前年比で増加した他、水産関連設備の新設工事等があった「独立行政法人等」も前年を上回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



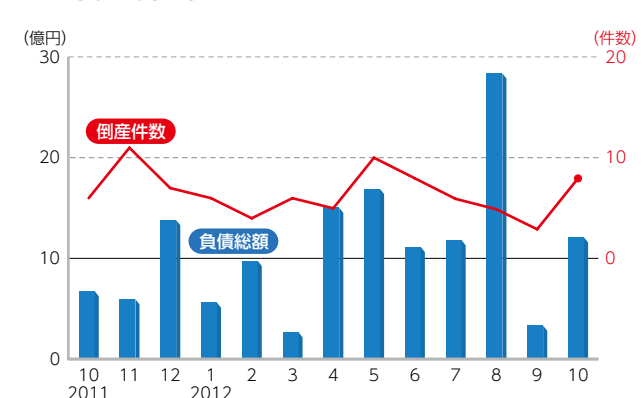
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を上回る

10月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%増の8件、負債総額が同78.4%増の約12億円となりました。

農業で約2億円の倒産が発生した他、受注環境の依然厳しい建設業で5件の倒産が発生しました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 持ち直しの動きに鈍化の兆しが見られる

生産活動は、電子部品・デバイスが4ヵ月連続で低下する等、弱い動きが見られる他、総合指数においても100を下回る水準が続いています。住宅建設は、3ヵ月ぶりに前年を上回ったものの、消費面では、大型小売店販売額が14ヵ月連続で前年を下回り、弱い動きが続いています。

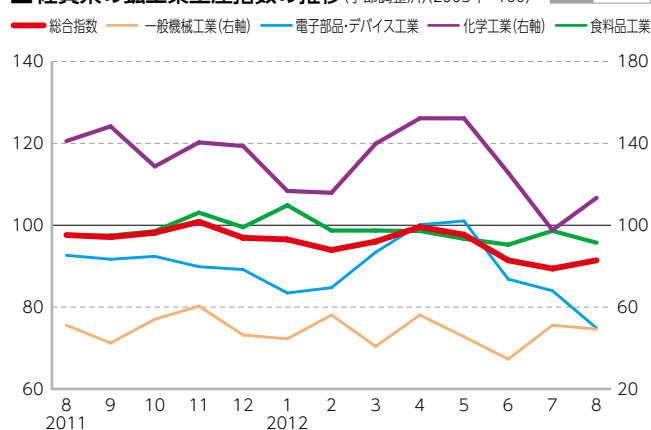
佐賀県の景気は、総じて持ち直しの動きに鈍化の兆しが見られます。

1.生産活動 | 総合指数は4ヵ月ぶりに上昇

8月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は91.6となり、前月比2.3%上昇しました。

主要業種では、食用アミノ酸等が減産となった食料品や、シリコンウェーハ等の生産が減少した電子部品・デバイスが低下した一方、医薬品等が増産となった化学が上昇しました。

■ 佐賀県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(2005年=100) 出所 佐賀県



2.大型小売店 | 14ヵ月連続で前年を下回る

9月の大型小売店販売額は、前年同月比2.1%減の50億円と、14ヵ月連続で前年を下回りました。

主力の飲食料品や、婦人服の動きの鈍かった衣料品が低調となった他、家具、家電や家庭用品の販売も伸び悩みました。

■ 佐賀県の大型小売店販売額

出所 九州経済産業局





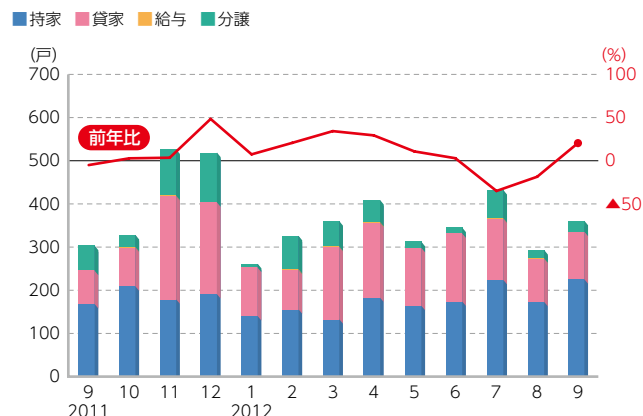
3.住宅建設 | 3ヵ月ぶりに前年を上回る

9月の新設住宅着工戸数は、361戸と前年同月比19.1%増加し、3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

「分譲」はマンションの着工が無く、前年を下回ったものの、「持家」「貸家」は消費税増税を意識した着工数の増加が見られ、前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



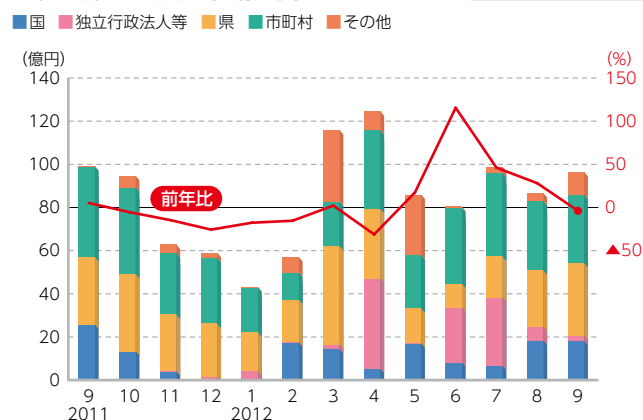
4.公共工事 | 5ヵ月ぶりに前年を下回る

9月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比増減なしの277件、金額は同2.9%減の96億円となり、請負金額は5ヵ月ぶりに前年を下回りました。

発注者別では、ポンプ設備工事等のあった「県」や、国保施設建設工事等のあった「その他」は前年を上回ったものの、件数の減少した「国」や、前年に大型案件のあった「市町村」が前年を下回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を上回る

10月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比50.0%増の6件、負債総額は同119.7%増の約29億円となりました。

ゴルフ場運営で赤字累積を原因とする約24億円の大型倒産があった他、運送業で販売不振を原因とする1億円以上の倒産が2件発生しました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

